

通所型サービスの強みを活かした 認知症の人への支援

<認知症対応型通所介護事業所の特長>

- 認知症の専門研修を受けた職員を配置
- 小規模な人と環境
- 職員配置の手厚さ

個々の認知症の人の症状や容態に合わせた個別ケアを提供するために、アセスメントを丁寧に行い、通所介護計画の作成、日々の支援の実践に結び付ける

資料: 社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
「認知症の人に対する通所型サービスのあり方に関する調査研究事業報告書」
平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査)、p79、2014年(一部改変)

<認知症対応型通所介護事業所で行われている支援>

- ✓ 利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供
- ✓ 介護支援専門員と連携した継続的な介護者支援の提供
- ✓ 認知症の人を地域で支え合うための土台を担う

資料: 社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター「地域で生活する認知症の人を支える在宅サービスのあり方に関する調査研究事業報告書」
平成26年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、p37-39、2015年3月

- 具体は認知症対応型通所介護事業所における実践事例を参照
(計26事例: 平成26年度厚生労働省老健保健健康増進等事業調査対象事業所、他)

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供①～

医療法人社団千春会

せんしゅんかいデイサービスセンター風車
(京都府長岡京市)

単独型：2単位 定員24名

- FIMやDASCといった客観的指標を使い、利用者の現在の様子を踏まえながら、日常ケアを実施しています。
- 記録をきちんと残すことで、何がどのように変化してきたかを把握でき、専門職間での検討に役立ちます。
- 家庭訪問を定期的に行い、家族との信頼関係を築くと同時に、家族の本音を聞き出し、利用者の要望とすり合わせをしながら、日々のケアを提供しています。
- 家族に対し、個々の利用者の介護技術に関する助言を行っています。



*1階と2階で、それぞれユニットが分かれています。利用者は掘りこたつに座りながら、楽しく談笑されます。

*周囲の雰囲気になじみ、落ち着いた雰囲気の建物です。



<認知症に特化した研修修了者>

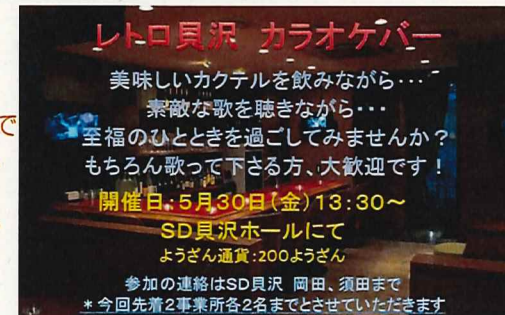
認知症対応型サービス事業管理者研修:2名
認知症介護実践者研修:2名、認知症介護指導者研修:1名
認知症介護実践リーダー研修:2名

株式会社ブランドゥ

スーパーディようざん(群馬県高崎市)

単独型：1単位 定員12名

- 利用者がデイサービスに在る間だけでなく、一日を通しての生活や家族関係、関わっている人々を踏まえた、広い視野に立って支援を行っています。
- 認知症の疾患を意識し、各種スコアを用いつつ、その人その人の容態を踏まえてリハビリやケアを実践しています。
- 高崎市内にある法人の10ヶ所の認知症対応型通所介護事業所間の交流も活発で、事業所内通貨(ようざん)を使い、利用者は様々なアクティビティに参加できます。
- 連絡ノートに認知症の疾患別対応の工夫の表を貼るなど、家族に対して様々な情報提供をしています。



*活動は各事業所で
様々行われており、
参加を促す工夫が
こらされています。



*法人全体で
フォトコンテストを
実施しています。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名
認知症介護実践者研修:3名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供②～

認定特定非営利活動法人 デイホーム語らいの家（東京都世田谷区） 単独型：1単位 定員12名

- 民家を改修した事業所で、ふすま等を取り払ってスペースを広く確保しつつ、テーブルやソファを適宜配置することで、気の合う仲間同士でゆったりと会話を楽しんだり、活動を楽しめる工夫をしています。
- 利用者同士の交流を大切にし、職員がさりげなく関わることで、関係の調整を行っています。
- 月に1度家族相談会を開催し、地域住民の誰もが参加できるようにしています。
- 昼食を利用者と共に作り、これまでの生活と同じような時間を過ごしていただくことで、生活のリズムを整えたり、役割を持って日々を過ごすための支援を行っています。

*民家を移築した建物です。



*デイホームでの様子。
多くの人々が円になり、
和気あいあいとおしゃべりを
楽しんでいます。

＜認知症に特化した研修修了者＞
認知症対応型サービス事業管理者研修：1名
認知症介護実践者研修：1名、認知症介護指導者研修：1名

株式会社Professional Works デイサービスつむぎ（東京都杉並区） 単独型：1単位 12名

- 毎日利用者と職員が一緒にお昼ご飯を作っています。買い物や献立決め、調理、片づけにわたり、利用者一人一人が役割を持って、お互いに助け合っています。
- 家族との連絡ノートには、どのような情報（例：日中の様子、食事の内容、会話の内容等）が最も知りたいかを家族に確認し、それを中心に連絡を入れています。
- 利用者の持っている力を把握しつつ、今、その時の利用者の状況（不安になっていないか、焦っていないかなど）を踏まえて適宜介入・支援しています。
- 身だしなみや整容、言葉遣い等、人としての尊厳に関わることを大切にしています。

*民家を改修した
事業所です。



*それぞれの得意を活かし、
協力しあいながら昼食を
作ります。

＜認知症に特化した研修修了者＞
認知症対応型サービス事業管理者研修：2名
認知症介護実践者研修：4名、認知症介護指導者研修：1名
認知症介護実践リーダー研修：2名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供③～

医療法人社団つくし会

やがわデイサービスセンター（東京都国立市）

単独型：2単位 定員24名

- 通所介護計画の作成は、日々の生活を意識し、生活リズムを整えたり、買い物や調理、洗濯等の家事作業の他、本人のできること、好きなこと、得意なことを取り入れ、メリハリのある支援を行っています。
- 日々の生活を踏まえた支援により、利用者の意欲が引き出され、「手伝うわよ」といった自発的な言葉が多く聞かれるようになっていきます。
- 公園やスーパー、資料館など、地域に出ることや季節を感じる、歩く機会を多く持つようにしています。
- ケアマネジャーを通じて、多職種への連絡を密にしています。



* 駅から徒歩1分と大変
便利な立地です。



* 2ユニットの利点を活かし、空間を
広げたり、分けたりして、お互いの様子
が見えるようになっています。

< 認知症に特化した研修修了者 >

認知症対応型サービス事業管理者研修：1名

認知症介護実践者研修：2名

株式会社なごみ

デイサービスなごみの家（千葉県四街道市）

単独型：1単位 定員10名

- 認知症看護認定看護師が2名、認知症介護実践者研修修了者が4名おり、職員の資質向上に力を入れると同時に、専門的ケアの提供を実践しています。
- 民家を使ったデイサービスで、ふすま等をうまく使い、小さな空間から大きな空間まで、その日の顔ぶれや活動に応じて自在に作り出しています。
- 利用時に家族に事業所の見学に来てもらうと同時に、事業所からも何回か自宅を訪問し、関係を築いています。
- ケアマネジャーとの連携を大切にし、担当者会議を通じて他の事業所とも連携を深めています。



* 閑静な住宅街の
一角にあります。



* ふすまをうまく使い、
活動の内容や利用者の
様子で小さな空間や大
きな空間を自在に作っ
ています。

< 認知症に特化した研修修了者 >

認知症対応型サービス事業管理者研修：2名

認知症介護実践者研修：4名、認知症看護認定看護師：2名

認知症介護実践リーダー研修：1名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供④～

有限会社シャイニング トトロの森のデイサービス（北海道札幌市） 共用型：1単位 定員3名

- 利用者の役割（コーヒーを淹れる、縫い物をするなど）を提供し、利用者の「居場所」や「役割と達成感」を持って通所できるよう支援しています。
- お迎えの前に「今日もよろしくお願いします」と電話をいれるなどして、利用者の気持ちを「必要とされている」、「デイに行く」という方向にもっていきます。
- 手芸など、利用者の得意を活かした作品を作り、イベント等に出展し、社会との接点を持つ機会を設けています。
- 地域包括支援センターの協力を得て、地域、家族に向けた勉強会8を開催し、利用者も地域の一員として参加しています。



＊左端の男性はデイサービスの利用者で、真ん中の女性はグループホームの利用者です。男性は「社会貢献」の場としてデイサービスを利用しています。



＊認知症の勉強会に、利用者も参加しています。

＜認知症に特化した研修修了者＞
認知症対応型サービス事業管理者研修：1名
認知症介護実践者研修：2名、認知症介護実践リーダー研修：2名

社会福祉法人幸清会 みたらの杜（北海道室蘭市） 併設型：1単位 定員12名

- 「今日は天気がいいから散歩に行きたいね」「麻雀の相手いるかな？」など、利用者がその日にやりたい事を生活に取り入れるよう心がけています。
- 1人ひとりの過ごし方を組み立てながら、みんなで行えるレクリエーションなども生活に取り入れ、共同生活に馴染める工夫をしています。
- 利用者の多くは家庭での入浴を拒否する傾向がありますが、認知症介護実践研修で得た学びを活かし、利用者が不安や混乱を生じないように、1人ひとりの意向や好み、こだわりを全スタッフが共有して関わっています。
- 1日の生活の流れを、家庭での生活に近いものにしつつ、それでいて少しだけ共同生活の良さが出るようにしています。



＊利用者の「やりたいこと」を大切にしつつ、日々の支援を行っています。



＜認知症に特化した研修修了者＞
認知症対応型サービス事業管理者研修：1名
認知症介護実践者研修：3名、認知症介護実践リーダー研修：1名

認知症対応型通所介護事業所の取り組み例 ～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供⑤～

一般社団法人ゆうあい社会福祉事業団 デイサービスゆうあい古枝（佐賀県鹿島市）

単独型：1単位 定員12名

- 母体法人に医療機関があることから、医療との連携がとてよく、多職種の視点でケアが提供されています。
- 法人内に6つの認知症対応型通所介護があり、利用者に合った事業所を選択し、提案しています。
- 認知症に関する勉強会を法人全体で行っており、初級、中級、上級にわけて実施しています。
- その日の利用者によって室内のレイアウトを変え、過ごしやすいように工夫をしています。
- 利用者の24時間の生活を前提に、関わり方を考えています。また、利用者を支える家族にも目を向け、変化がないかを確認（観察）しています。



*玄関の様子



*手前のテーブルや奥のソファの配置を工夫することで、その日の利用者にあわせた環境作りをしています。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:1名、認知症介護実践リーダー研修:1名

医療法人孝佑会 こう内科デイサービスセンター （北海道札幌市）

単独型：2単位 定員24名

- 「医療と介護がともに力を合わせ地域の皆様の健康と生活を支える」を使命とし、利用者だけでなく、家族への支援も常に視野に入れています。
- 内科のクリニックに併設しており、体調不良をうまく訴えることのできない利用者に対して適切かつ迅速に対応することができます。
- 毎週新しいゲームやレクリエーションを提供し、デイサービスで楽しく過ごせることを目標にすると同時に、認知機能への刺激を心がけています。
- 利用者1人1人のケア内容を日々確認し、職員で共有できるシステム作りを目指しています。

*吹き抜けの明るいスペースです。



*職員手作りの食事を毎日提供しています。また、お手伝いいただける方には一緒に調理をお願いしています。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:2名

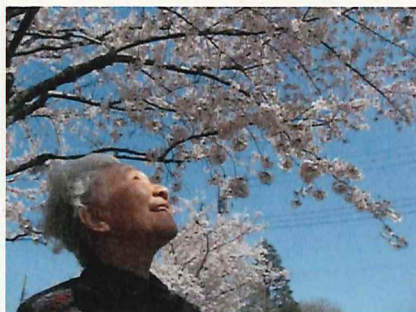
認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供⑥～

社会福祉法人東京かたばみ会
調布市ちょうふの里高齢者在宅サービスセンター
認知症対応型通所介護（東京都調布市）

単独型：1単位 定員12名

- 決まったプログラムではなく、利用者のその日の心身状態にあわせたプログラムを提供するように配慮しています。
- 咲き誇る花を観に外出したり、茶話会用の飲み物等を購入しに外出するなどし、心身の維持・向上に努めています。
- 地域との交流の一環として、近隣の保育園の子ども達やドッグセラピーのボランティアとの交流を通じて、利用者の笑顔を引出し、癒しの効果が大きいプログラムを適宜、提供しています。
- 何かを伝えたいけれど、認知症のため上手く伝えることができない利用者が多い中、「その人が伝えたいことをとことん聞く」という傾聴の姿勢を第一の指針に、利用者と寄り添うケアに努めています。



*桜を見つけに散歩に出掛けました。

*可愛い犬と触れ合います。



＜認知症に特化した研修修了者＞
認知症対応型サービス事業管理者研修：1名
認知症介護実践者研修：2名、認知症介護実践リーダー研修：2名

社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会
みなづるデイサービスセンター

（福島県会津若松市）

共用型：1単位 定員3名

- 民家を改修したデイサービスで、居間は昔ながらの畳の部屋を使い、休憩時には布団を引いて寝るなど、家での生活と同じような環境を整えています。
- 送迎時に家族の意見や不安等を引き出せるよう、ゆっくり時間をかけて話を聴くようにしています。
- 食生活や生活リズムを整え、家庭的な雰囲気の中で日常生活機能の低下を予防できるよう、食事作りや掃除、洗濯等を取り入れて、支援しています。



*事業所内の様子。民家を活用し、とても家庭的です。

＜認知症に特化した研修修了者＞
認知症対応型サービス事業管理者研修：2名
認知症介護実践者研修：6名

認知症対応型通所介護事業所の取り組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供⑦～

社会福祉法人栄和会 厚別栄和荘デイサービスセンター (北海道札幌市)

併設型：1単位 定員12名

○ 園芸や料理、回想法等を取り入れ、「見る喜び」「話す喜び」「できる喜び」「協力し合える喜び」を通じ、利用者の達成感や心地よさ、快適さを大切にしています。

○ 1日のスケジュールはあくまで目安とし、食事、入浴、送迎等において、利用者の精神状態や意向に沿った対応を行い、個別性の高いサービスの実施しています。

○ 過去に通所介護を利用していましたが、認知症の進行により集団での活動や交流が困難となって移行した方が多くいらっしゃいます。利用開始時は自信を失っており、なぜ自分がこの様になってしまったのかと精神的不安定な状態の時がありますが、焦らず時間をかけて、「誰も自分の事を責めたりしない」と思って頂けるように心掛けています。



*園芸に取り組む利用者



*調理の様子

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:2名

認知症介護実践者研修:4名、認知症介護実践リーダー研修:1名、

社会福祉法人老後を幸せにする会 デイ・ホーム玉川田園調布(東京都世田谷区)

単独型：1単位 定員12名

○開所して15年。玉川田園調布・奥沢・東玉川などの地域を対象に、食事・排泄・入浴・社会交流など、1人ひとりのニーズにあわせた支援を行っています。

○利用者にとって「何かが出来る場所」として「その人らしさ」を大切に、「思い」や「希望」に耳を傾けています。

○職員が利用者宅を訪問し、家族への支援も含めた個別面談を行ないます。

○天気の良い日は「お散歩や買い物」、「運動」、季節に合わせて「お花見」、「おやつ作り」、紅葉の時期には「遠足」、年末は「忘年会」、ほか、日常を当たり前の生活の一部とし、「たくさんの笑顔」を生み出しています。



*草花や野菜が採れる庭園があります。和やかなお茶会も開いています。

*事業所1階では「認知症カフェ」を毎月第3金曜日に開催しています。アロマセラピーも受けられます。



<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:2名

認知症対応型通所介護事業所の取り組み例

～利用者の容態やペースを踏まえた臨機応変のケアの提供⑧～

株式会社ティーシーエス デイ・サロン友の里山王（東京都大田区）

単独型：2単位 定員24名

- 日常生活動作を維持・向上させるべく、デイサービス利用中に様々な作業に取り組んでいただいています。
- 独居の利用者や家族が仕事の都合で遅くに帰る場合、介護保険外サービスとして夕食の提供を行っています。職員の手作りで、家庭的なメニューが豊富です。
- 特に独居の方は、ケアマネジャーと連携を図り、薬の管理や日々の生活変化を共有しています。
- 外出レクリエーションに力を入れており、お花見や紅葉散策といった季節のイベントの他、高輪プリンスホテルの日本庭園散策や昭和のくらし博物館へ歴史散策、羽田空港国際線ターミナル見学会、品川歴史館へ芸術の秋ツアーなど、利用者の興味や趣味に合わせて様々なところに外出しています。



*羽田空港国際線ターミナル、屋上にて。世界に羽ばたく飛行機を見ながら、話も弾みます。

*上池台の小池公園まで日光浴を兼ねて外出しています。



<認知症に特化した研修修了者>
認知症対応型サービス事業管理者研修:1名
認知症介護実践者研修:2名

社会福祉法人日本フレンズ奉仕団 デイ・ホーム中丸（東京都世田谷区）

単独型：1単位 定員10名

- 一人ひとりの認知症の容態を理解した上で、その人の「できること」「得意なこと」を個別的にプログラムに取り入れています（例：パソコン操作等）。
- 園芸作業や料理プログラム、利用者の興味に合わせて様々な取り組みを行っています。
- 家族の就労状況等に合わせ、自費延長サービスを実施しています。夕食付で、最長滞在時間を19:00までとし、1日当たり3名までを職員2名で対応しています（予約制）。
- 1ヶ月の延べ延長対応利用者は18人程度で、延長時間中は夕食を一緒にしたり、夏には花火を行うなど、家庭で過ごす夕方の団らんをデイ・ホームで提供するように心がけています。

*パソコンを使って作品作りをしています。



*夏の花火大会。延長サービスだからこそできる、「夜」のプログラムです。

<認知症に特化した研修修了者>
認知症対応型サービス事業管理者研修:1名
認知症介護実践者研修:1名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～介護支援専門員と連携した継続的な介護者支援の提供①～

有限会社ライフアート

モア・サロン福寿（北海道札幌市）

単独型：1単位 定員10名

- 利用開始時、徐々に環境に慣れるよう、家族と一緒にデイサービスに来ていただいたり、短時間で切り上げるなどして、利用者に無理のない形でなじんでいただいています。
- 利用者や家族の状況をケアマネジャーに情報提供し、利用者にとって最も良い環境をコーディネートできるように支援しています。
- 月に一回家族が主体となって家族会を開催しています。家族同士が情報交換することで、お互いが励まし合う様子が見られます。
- 若い男性の利用者が多く、事業所近くにある観光スポットへの見学会などを頻繁に実施し、利用者の知的好奇心を満たすようにしています。



*事業所内には左の写真の居間の他、右の写真のような小さな部屋がいくつかあります。利用者の様子や希望する活動によって、部屋を使い分けています。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:3名

認知症介護実践者研修:3名、認知症介護指導者研修:1名

株式会社すずらん

デイサービスすずらん梅丘（東京都世田谷区）

単独型：1単位 定員12名

- 他のサービスとの連携を大切にし、お泊りサービスやショートステイを初めて利用される方には、デイサービスでの様子や支援方法を文書にして情報提供したり、ケースによっては家族やケアマネジャーの承諾の上、主治医と直接やり取りをしてデイサービスでの様子を伝えています。
- ケアマネジャーに対し、月末の定期的な状況報告の他、随時報告を行うことで、こまめな連携を心がけています。
- 送迎は利用者の様子や家族の都合に合わせています。例えば、迎え時に準備ができていない場合には時間を改めとお迎えに行ったり、送り時に家族が帰ってきていなかったときには、一度事業所に戻り、再度家族の帰宅を待って送っています。

*住宅街にあるビルの一階です。



*日中の様子です。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:3名、認知症介護指導者研修:1名

認知症対応型通所介護事業所の取り組み例

～介護支援専門員と連携した継続的な介護者支援の提供②～

一般財団法人竹田健康財団 認知症専門デイサービスOASIS (福島県会津若松市)

単独型：1単位 定員12名

- 家族勉強会を年4回開催し、認知症の理解を互いに深め合うとともに、家族同士で話せる場を提供しています。
- 送迎時は利用者への対応を家族に見てもらったり、見せてもらったりしながら、家族と信頼関係を築くようにしています。
- 生活全体のリズムをつかむため、デイ利用以外の時間の様子を把握し、ケアマネジャーやショートステイ先、家族などと連携しています。利用者が集中できる環境や、興味を持ったことを共有し、生活が安定するよう連携しています。
- できることをひきだす視点で関わり、自立した生活が継続できるよう支援しています。

* 玄関の様子。送迎時に利用者宅の生活道路の雪かきをすることもあります。



* 室内の様子

< 認知症に特化した研修修了者 >

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:3名、認知症介護指導者研修:1名

認知症介護実践リーダー研修:1名

社会福祉法人町田市福祉サービス協会 おりづる苑もりの (東京都町田市)

併設型：2単位 24名

- 本人の希望や家族の考えを確認し、すぐできることなど、優先順位をつけて取りかかります。
- 通所介護計画を立てる際に、本人や家族の思いをデイサービスでかなえることができるよう、方法や注意点を具体的かつ端的に文章化しています。
- デイサービスの利用が安定してきたら、ケアマネジャーを通じ、他のサービスへの橋渡しの手助けも行っています。
- 連絡ノートや必要時の電話、配布物等を最大限に活用し、利用者や家族との信頼関係の構築に努めています。

* 廊下は美術館のようです。
(絵は併設の特養利用者の作品です)



* 閑静な住宅街の一角にあります。

< 認知症に特化した研修修了者 >

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:2名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～介護支援専門員と連携した継続的な介護者支援の提供③～

社会福祉法人恵仁福祉協会

萩の家（長野県上田市）

単独型：1単位 定員12名

- 昔ながらの食べ物や習慣を大切にし、利用者のその時どきの気持ちを尊重しながら日々の支援を提供しています。
- 本人が希望しても、仕事の関係等で家族がなかなかしてあげられないこと（例：昔よく行っていた思い出の場所等）をできるだけ叶えるようにしています。
- 送迎時や連絡帳、電話等を使って、家族との情報交換を密に行ったり、個々の利用者に対する介護技術に関する助言を行っています。
- デイの様子を伝えるだけでなく、送迎時などに家族から得た情報等をケアマネジャーに伝えるようにしています。



*玄関です。
隣にグループホームがあります。



*室内の様子。この右手に
大きなリビングがあります。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:1名

認知症介護実践者研修:5名、認知症介護指導者研修:1名

認知症介護実践リーダー研修:1名

社会福祉法人ジェイエー長野会

宅老所そめや（長野県上田市）

単独型：1単位 定員12名

- 民家を借りてデイサービスを行っており、庭の様子や室内の装飾等、自宅にいるような雰囲気です。
- 帰りの時間の変更や、利用日の変更など、利用者や家族の都合に合わせ、適宜対応しています。
- 利用者や家族にアンケートを実施し、満足していることや改善点を聞いています。
- 調理を通じた自立支援を行っています。
- 利用者の変化に伴う家族の変化にも敏感に感じ取り、いつでも話し合い等ができるよう、ケアマネジャーに連携しています。



*事業所外観。
立派な庭があります。



*利用者手作りの桜餅と
干し柿。干し柿は昨年
だけで700個も作った
そうです。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:2名

認知症介護実践者研修:2名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～認知症の人を地域で支えあうための土台を担う①～

株式会社さくらコミュニティーケアサービス ケアサロンさくら（神奈川県鎌倉市）

単独型：1単位 定員8名

- 商店街の一角にある事業所で、商店街での買い物やお花の水やりなどを通じ、地域の人たちと活発に交流しています。
- 男性の利用者が多いこともあり、近所にある公園で、サッカーや野球をしています。時には子供たちも一緒に。
- 近隣の利用者は職員が歩いて送迎し、自宅周辺の地理状況を確認したり、視空間認知力の維持に努めています。
- 利用者の6～7割はデイサービス利用前に行方不明になったことがありましたが、公園での運動、栄養管理、地域の人との交流などを通じ、利用開始後は全くなくなったそうです。



＊近くの公園で子供たちと共にキャッチボールやサッカーを楽しみます。



＊事業所前にある花壇に水やり。向かいの八百屋さんがいつも暖かく見守ってくれています。

＜認知症に特化した研修修了者＞

認知症対応型サービス事業管理者研修：1名

認知症介護実践者研修：2名

社会福祉法人至誠学舎立川 至誠キートスケアセンター デイホーム

（東京都立川市）

併設型：2単位 定員24名

- ボランティアの参加を積極的に推進し、「麻雀ボランティア」や「お散歩ボランティア」「喫茶ボランティア」など、ボランティアの得意を活かしつつ、利用者が地域の人と交流したり、地域の人が認知症の人と関わることで、認知症への理解を深める機会を提供しています。
- 利用者の満足度と実施しているケアのニーズがあっているかを常に確認しています。
- アロママッサージ等、香りと共に精神的にリラックスできる空間を用意し、特に帰りの前に実施することで、穏やかになられると同時に、家でもぐっすりお休みになっているとの報告があります。浮腫の改善、血圧の過剰上昇の予防にもつながっており、それらが効果の測定材料となっています。



＊通所介護と認知症対応型通所介護が1階にあり、相互が行き来できるようになっています。



＜認知症に特化した研修修了者＞

認知症対応型サービス事業管理者研修：1名

認知症介護実践者研修：1名

認知症対応型通所介護事業所の取組み例

～認知症の人を地域で支えあうための土台を担う②～

公益財団法人正光会

デイサービスセンター「結い」じょうへん

(愛媛県愛南町)

単独型：1単位 定員12名

○ 事業所の建物は元ホテルで、1階に認知症対応型通所介護事業所の他、地域交流サロンがあります。

○ 近くにある小学校の生徒たちが学校帰りにサロンに立ち寄り、宿題をやったり、友達とゲームをしたり、事業所の利用者と交流するなどして過ごしています。

○ 利用者や家族の不安が強い時や困っているときなど、すぐにケアマネジャーに報告し、早期解決に努めています。

○ 利用者の生活歴を大切に、家族ではわからないことも多いので、利用中の会話の中で丁寧に聞き出し、日々の支援に活かしています。



*手前の玄関が地域交流サロンの入口、緑のマットがあるところがデイサービスの入口です。サロンにはお遍路さんが寄っていくことがあります。



<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:2名

認知症介護実践者研修:2名

特定非営利活動法人お互いさまネットワーク

デイサービス喜楽(群馬県館林市)

単独型：1単位 定員12名

○ 地域からの信頼が厚く、「認知症の相談窓口」として機能しています。

○ 毎朝のミーティングで、利用者の顔ぶれや天気、これまでの活動などを踏まえ、その日の過ごし方を決めると同時に、個別ケアをどのように提供していくかの確認をしています。

○ 生活リハビリを通じ、デイサービスで楽しく過ごすこと、役割を持つこと、能力を維持することを行っています。

○ 連絡ノートの活用や送迎時の家族とのコミュニケーションを密にとることで、信頼関係を築いています。



*事業所外観。デイサービスの周囲にはグループホーム等があります。



*居間の様子。壁に貼ってある事業所の目標は利用者を書いてくれました。

<認知症に特化した研修修了者>

認知症対応型サービス事業管理者研修:2名

認知症介護実践者研修:4名